

学習指導案

科目名	情報の科学		担当者	実施日	令和 5 年 10 月 12 日				
単元名	情報システムが支える社会			2 時間目	/ 10 時間数				
主題	使いやすくて安全な機器								
本時間の学習目標		<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにあるIT機器を考え、困る点を話し合う活動を通して、IT機器が生活を便利にし、人間関係や生活の範囲を広げる役割をしていることに気付く。 							
段階	分	内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点	評価				評価方法
					具体の評価規準との対応				
					関	思	技	知	
導入	10	本時の目標につなげる	身の回りにIT技術が使われているものを考える。 (ワークシートに書き込む) その時に、何に配慮されているか、効果なども考える。	IT機器をどこで使われていて、どういう風に使われているのか考えることを促す。	○				ワークシート
	10	ユーザインターフェースの工夫について	<ul style="list-style-type: none"> 導入をもとに教科書に載っているIT技術が使われているものを知る。この時、どういう風に操作するか、おおまかにやってみる。(生徒になじみのないものは、映像を見せる) 色々なIT技術をみて、困ることを考え、模造紙に書く。(グループワーク→全体) 	積極的に意見を出し合える雰囲気を作る。 教科書に載っているなじみのないものは、捕捉で説明する。 教科書に書いてあることを通して、困ることを考える際、自分以外の立場にたつことを色々な場合を通して考えることを促す。			○	○	交流の様子、模造紙
展開	20	使いやすい機器を作るにはどうするかを考える	<ul style="list-style-type: none"> 考えた困ることを踏まえ、それをなくすにはどうすればいいか考え、模造紙に書く。(グループ→全体) 実際にほかにもどんなものがあるかタブレットで調べる。 教科書に載っている語句を学ぶ。 	積極的に意見を出し合える雰囲気を作る。 出てきた内容と語句が結びつくように、模造紙に書き込む。(色を使って分類わけをする。)		○		○	模造紙、発表の様子
	10	本時のまとめ	1時間の振り返りをする。 ワークシートにわかったことと感想、自分の生活で気を付けていきたいことをまとめる。	なぜそう考えるか、理由を含めて書くよう指示する。	○			○	ワークシート